

令和元年度 公益財団法人佐世保地域文化事業財団

事業報告書

1. まえがき

この報告書は、令和元年度（平成31年4月1日～令和2年3月31日）の事業実績である。

2. 概 況

「アルカスSASEBO」の管理運営を行う指定管理者として、佐世保市から指定されるとともに、当年度の事業計画に基づき、地域文化の振興と育成、地域文化活動の活性化を目指し、設立の趣旨に沿った各種事業（自主・共催事業、コンベンション事業、ホールボランティア事業、友の会事業）を実施した。

3. 庶務報告

(1) 監査の実施

令和元年5月8日に平成30年度決算監査を実施した。

(2) 会 議

① 第34回理事会（令和元年5月14日）

- ・定款第25条第4項に基づく職務執行状況報告
- ・平成30年度事業報告及び財務諸表について
- ・公益法人の事業報告等に係る提出書類について
- ・顧問の選任について
- ・定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について

② 第27回評議員会（令和元年5月29日）

- ・平成30年度事業報告及び財務諸表について
- ・公益法人の事業報告等に係る提出書類について
- ・理事・監事の改選について
- ・評議員の改選について

③ 第35回理事会（令和元年10月7日）

- ・定款第25条第4項に基づく職務執行状況報告
- ・令和2年度事業計画について
- ・評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について

- ④ 第 28 回評議員会 (令和元年 10 月 16 日)
- ・ 令和 2 年度事業計画について
 - ・ 理事の改選について
- ⑤ 第 36 回理事会 (令和 2 年 2 月 6 日)
- ・ 令和 2 年度事業計画書 (案) 及び収支予算書 (案) について
 - ・ 有期職員就業規程の一部改定について
 - ・ 無期職員就業規程の一部改定について
 - ・ 継続雇用規程の一部改定について
 - ・ 事務局長の辞任について
 - ・ 常務理事の辞任について
 - ・ 理事の辞任を評議員会に付議する件について
 - ・ 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
- ⑥ 第 29 回評議員会 (令和 2 年 2 月 14 日)
- ・ 令和 2 年度事業計画書 (案) 及び収支予算書 (案) について
 - ・ 理事の辞任について
- ⑦ 第 37 回理事会 (書面決議) (令和 2 年 3 月 25 日)
- ・ 事務局長の就任について

4. 事業報告（平成31年4月～令和2年3月）

令和元年度は、アルカスSASEBOの開館19年目、財団設立から20年目、指定管理者として第三期の4年目となり、財団の設立趣旨・定款等に基づき、施設を活用した文化事業を実施するとともに、施設の適切な管理運営に努めた。

芸術文化振興のための自主・共催事業として、年度後半の新型コロナウイルス感染症の影響により2本の事業が中止になったものの、質の高い舞台芸術に触れる機会を提供する「鑑賞」事業として18本、「普及」「育成」「交流」「創造」を目的とした市民参加型事業として29本を実施した。

施設提供事業として、公益及び収益を目的とした各種ホールや会議室、リハーサル室や練習室等の施設を提供したが、ホール・会議室の設備更新工事に伴う使用停止期間があったことや、新型コロナウイルス感染症の影響により96件の施設利用の変更・取消が発生し、利用者数は前年度を81,646人下回る結果となった。なお、変更・取消に伴う利用料金の還付については、遅滞なく適切な事務処理を行った。

その他、芸術文化の振興及び地域活性化を図るための事業として、ホールボランティア活動の支援を行うとともに、公益目的事業の推進に資するために必要な事業として、友の会事業としてのアルカスクラブの運営を引続き行った。

施設面に関しては、大・中・イベントホールの舞台機構の設備更新や大会議室の音響・映像装置の設備更新などを行い、快適で安全な施設管理に取り組んだ。

引き続き、財団の安定的な経営に努めながら、地域の文化振興の拠点となる施設運営を行い、指定管理者としての責務を果たしていく。

[1] 自主・共催事業について（定款第4条第1項第1号関係）

鑑賞事業（18本）

質の高い舞台芸術にふれる機会を提供する鑑賞事業では、アンケートの結果や施設の特性を活かし、自主事業として14本、テレビ局等との共催事業として4本を実施した。

自主事業では、若者を中心に人気の声優による朗読劇『フォアレーゼン』を2019年度のテーマ作曲家『メンデルスゾーン』の作品を取り入れたオリジナル脚本で制作し、演劇とクラシック音楽のコラボレーション企画に取り組んだ。また、市民の文化活動が盛んな合唱、吹奏楽において、第一線で活躍している演奏団体『東京混声合唱団』、『東京佼成ウインドオーケストラ』の公演を行い、質の高い演奏にふれる機会を提供するとともに、それぞれの公演で市民との共演の機会も設けた。

要望の多いオーケストラ公演については、佐世保ゆかりのヴァイオリニスト古澤 巖をソリストに迎えた『京都市交響楽団』と、2016年度に創設した『オリジナル室内オーケストラ チェンバー・ソロイスト・佐世保』を実施し、ともに『メンデルスゾーン』の作品を取り上げ、幅広い地域からの集客を得た。

中ホールの特性を活かしたクラシック音楽公演として、ピアノの『横山幸雄』、ベルリンフィルのコントラバス奏者『エディクソン・ルイス』のリサイタルを実施した。エディクソンが、貧しい子どもたちも無償で音楽教育を受けることができるベネズエラの音楽教育システム“エル・システマ”出身であることから、『エル・システマ パネル展』などの関連企画も実施し、オーケストラ教育が子どもたちや社会にもたらす効果を紹介する機会ともなった。

低価格、短時間のランチタイムコンサートのスペシャル公演『うたたねクラシック』や、尺八とマリンバによる『藤原道山×SINSKE』公演、クリヤマコト率いるジャズ公演、親子で楽しめる演劇公演『to R mansion にんぎょひめ』と様々なジャンルの舞台芸術にふれる機会を提供した。

共催事業としては、『TULIP』、『沢田知可子・中西圭三』、『松山千春』、『鼓童』の4公演を実施した。

市民参加型事業 (29 本)

市民の文化活動を支援する市民参加型事業では「普及」「育成」「交流」「創造」の4つの目的に応じ、自主事業として26本、市民による実行委員会、長崎県、地元劇団との共催事業として3本、佐世保市からの受託事業2本を実施した。

普及事業として18本の事業を実施し、主なものとして大ホールではジュニアオーケストラの講師を務める地元演奏家を出演者として3才から楽しめるオーケストラ公演『キラっ都させぼファミリーコンサート』を、中ホールでは、短時間・低価格で気軽に生の音楽を楽しむ『ランチタイムコンサート』2公演と、2011年度より取り組んでいるオリジナル企画である『レジデンス弦楽四重奏団アルカス・クァルテット』公演を実施した。また関連企画として毎年行っているアウトリーチコンサートは、出演者の特性も活かし、初めて米海軍佐世保基地で行った。市民演奏家とともに企画運営を行っている『ロビーコンサート』では、ロビーでの5公演（新型コロナウイルス感染症防止のため1公演中止）と中ホールでのスペシャル公演を行ったほか、西九州させぼ広域都市圏の連携協約を結んでいる伊万里市（伊万里市民図書館）でミニコンサートも行い文化を通じた地域間交流を行うことができた。イベントホールでの子育て世代が気軽に音楽にふれる『0才からのクラシック』や、市内小学4年生の音楽の授業に研修を受けた地元演奏家を派遣する『音楽アウトリーチ事業 演奏家がやってくる!』を18校32クラスで行い、子どもたちが芸術にふれる機会の充実を図った。受託事業として『子どものための音楽鑑賞体験教室』を、共催事業では『劇団 HIT! STAGE 田丸家をぶっ壊せ!』の上演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症防止のため中止となった。

育成事業としては3本の事業を実施し、設立8年目となる『ジュニアオーケストラ』において、第7回定期演奏会の実施、県庁でのサマーコンサート、日露交歓コンサートへの出演のほか、全国公立ジュニアオーケストラ協議会主催のジュニアオーケストラ・フェスティバルへ有志13人が参加するなど様々な活動を行った。

また、障がいのある人も参加できる舞台芸術の創造を目指して、子どもや障がいのある人も参加できる『セレノグラフィカ ダンスワークショップ』を実施するとともに、特別支援学校でのアウトリーチ事業も行った。受託事業としては『第8回 させぼ文化マンス』を実施した。

交流事業では9本の事業を実施し、夏の恒例行事となった『アルカス九十九島音楽祭』をはじめ、小学生までの子どもたちによる『子どもミュージックマラソン』、子どもたちが舞台裏を探検する『ホール探検ツアー』、地元の茶道4流派の協力のもと子どもたちが茶道を通じて日本文化にふれる『伝統文化 佐世保こども茶道教室』など文化を通じて様々な世代の市民が交流を行う機会を提供した。また、『地域に住む障がい者にやさしいバリアフリーなホールづくり』事業を長崎国際大学 社会福祉学科の協力を得て実施し、障がいについて学ぶパネルディスカッションと館内のバリアフリー調査を行った。共催事業としては『佐世保 JAZZ』『日露交歓コンサート』を実施した。

創造事業では、演劇制作事業『アルカス演劇さーくる』として、佐世保市出身の演出家 宮原清美を中心に、地元の演劇人と共に開館20周年記念の作品づくりに向けた様々な取り組みを行った。

(1) 鑑賞事業 (18 本)

ホール	ジャンル	公演名	事業区分	開催日	入場者
大	クラシック 音楽	東京混声合唱団	自主	6月9日	713
		東京佼成ウインドオーケストラ	自主	6月22日	752
		京都市交響楽団	自主	9月8日	673
		うたたねクラシック	自主	10月27日	433
	演劇	声優朗読劇「フォアレーゼン」	自主	5月12日	500
	ポップス	TULIP	共催	7月5日	1,950
		小椋 佳	自主	8月9日	1,148
		沢田知可子・中西圭三	共催	9月18日	1,306
		一青窈	自主	11月29日	1,125
		松山千春	共催	12月10日	1,898
	邦楽	鼓童	共催	10月10日	912
中	クラシック 音楽	エディクソン・ルイースリサイタル	自主	9月29日	168
		横山幸雄ピアノリサイタル	自主	11月3日	328
		チェンバー・ソロイスツ・佐世保	自主	2月23日	266
	邦楽	藤原道山×SINSKE	自主	1月26日	425
イベント	演劇	to R mansion にんぎよひめ【2回公演】	自主	8月17日	316
	ジャズ	アルカスジャズカフェ	自主	9月6日	214

(2) 市民参加型事業 (31 本のうち2本中止)

目的	会場	事業名	事業区分	開催日	入場者
普及	大	子どものための音楽鑑賞体験教室	受託	6月25日	2,357
		アルカス“キラっ都”させぼファミリーコンサート	自主	12月1日	429
	中	ランチ&おやつタイムコンサートアルプス音楽団【2回公演】	自主	5月2日	309
		アルカス・クアルテット	自主	7月20日	229
		ロビーコンサートスペシャル 2019	自主	9月23日	454
		ランチタイムコンサート 住谷美帆リサイタル	自主	12月6日	385
		チェンバー・ソロイスツ・佐世保 文化茶話 SP	自主	12月20日	178
	イベント	ドレミであそぼう！0才からのクラシック	自主	6月29日	324
	その他	ロビーコンサート vol. 72	自主	5月11日	200
		ロビーコンサート vol. 73	自主	7月12日	200
		ロビーコンサート vol. 74	自主	11月30日	230
		ロビーコンサート vol. 75	自主	1月25日	180
		ロビーコンサート vol. 76	自主	2月15日	230
		ロビーコンサート vol. 77	自主	3月7日	中止
		ファミリーコンサート in 伊万里市民図書館	自主	11月9日	80
		音楽アウトリーチ事業 演奏家がやってくる！	自主	6～1月	970
		劇団 HIT! STAGE「田丸家をぶっ壊せ！」	共催	3月7、8日	中止

育成	全館他	第8回させぼ文化マンス	受託	11月1~30日	14,163
	大ほか	ジュニアオーケストラ（定期演奏会4月20日）	自主	通年	1,023
	リハ室	セレノグラフィカ ダンスワークショップ	自主	11、12月	54
交流	全館	アルカス九十九島音楽祭2019	自主	8月24、25日	18,083
	全ホール	ホール探検ツアー2019【午前、午後2回】	自主	7月23日	116
	大	佐世保 JAZZ at アルカス SASEBO 2019	共催	10月6日	959
	中	子どもミュージックマラソン	自主	5月5日	709
		日露交歓コンサート	共催	9月16日	370
	和茶室	伝統文化 佐世保こども茶道教室	自主	6~11月	78
	交流空間	エル・システム パネル展	自主	7、8、9月	2,850
	リハ室	地域に住む障がい者にやさしいバリアフリーなホールづくり	自主	10月14、28日	54
創造	リハ室	演劇さーくる	自主	7、8、12月	30

[2] 施設の維持管理及び管理運営業務について

(定款第4条第1項第2号関係・第5条第1項第1号関係)

芸術文化振興と地域活性化のための施設提供事業及び公益目的事業以外の施設提供事業と駐車場運営事業を行った。

区分	可能 日数	稼働 日数	稼働率	利用者数 (人)
大ホール	238	181	76.1	143,948
中ホール	273	162	59.3	31,546
イベントホール	282	203	72.0	37,499
大会議室	305	283	92.8	32,492
中会議室	334	321	96.1	11,993
小会議室	336	313	93.2	5,321
特別会議室	321	39	12.1	787
控室(応接室)	327	195	59.6	772
和室	332	213	64.2	4,969
茶室	293	34	11.6	313
第1リハーサル室	327	231	70.6	13,757
第2リハーサル室	328	212	64.6	14,391
練習室1	334	241	72.2	4,035
練習室2	335	240	71.6	3,232
練習室3	335	241	71.9	1,348
交流スクエア	330	280	84.8	69,055
ステッププラザ	326	46	14.1	11,258
アルカス広場	334	51	15.3	24,756
合計				411,472

施設提供事業については、利用者数が411,472人、施設利用料及び附属設備使用料収入は90,668,530円であった。

駐車場運営については、利用台数が27,289台、利用料収入は9,774,200円であった。

[3] コンベンション事業について
(定款第4条第1項第2号関係)

地域活性化に寄与するコンベンションについては、令和2年3月末の開館19年間で225件、約44万5千人の大会参加者を迎え入れることができた。

コンベンション開催の際は、式典・講演会を2,000人収容の大ホールで実施し、分科会を中ホール・会議室で行い、懇親会・展示会などはイベントホールを平土間（フラット）にして行うなどアルカスSASEBOの施設特性を最大限活かした利用方法を提案している。

[令和元年度 コンベンション実績] 平成31年4月1日～令和2年3月31日

大会名	開催日	使用施設	参加延人数
ライオンズクラブ国際協会337-C地区 第65回年次大会	4月13日	全館	750人
第14回シニアコーラス・フェスティバル	4月28日	大ホール・イベントホール その他	1,650人
第25回白十字会 Institute	7月6日	大ホール・中ホール イベントホール	1,400人
第22回長崎県合唱フェスティバル 第74回九州合唱コンクール長崎県予選	7月14日	大ホール・リハーサル室 その他	1,600人
第64回九州吹奏楽コンクール予選 長崎県吹奏楽コンクール 大学の部、高等学校の部 中学校の部 県北地区大会	7月20日・21日 28日	大ホール・イベントホール・会議室 リハーサル室・その他	10,450人
第40回全国保育集会	7月26日・27日 28日	大ホール・中ホール イベントホール・会議室・その他	1,960人
第67回全日本吹奏楽コンクール予選 第64回九州吹奏楽コンクール 大学、職場・一般の部	8月31日 9月1日	大ホール・イベントホール・会議室 リハーサル室・その他	3,710人
第27回長崎救急医学会	9月7日	会議室	180人
第56回九州地区肢体不自由教育研究大会 長崎大会	10月16日・17日	中ホール・イベントホール 会議室	400人
長崎県高等学校文化連盟創立30周年記念 第15回長崎県高等学校総合文化祭	11月8日～10日	全館	3,240人
第67回西日本都市監査事務研修会	11月14日・15日	大ホール・会議室	950人
第60回九州音楽教育研究大会長崎大会	11月21日・22日	全館	3,130人
第56回長崎県PTA研究大会佐世保大会	11月23日	大ホール・中ホール・イベントホール 会議室・その他	1,660人

令和元年度日本商工会議所青年部役員会 及び令和2年度役員予定者会議等	令和2年 1月24日・25日	イベントホール・会議室・その他	500 人
計 14 件			31,580 人

※令和2年3月31日現在

[4] ホールボランティア事業について
(定款第4条第1項第3号関係)

平成12年10月、アルカスSASEBOの自主事業を支援する市民参加型のホールボランティア制度として一般募集を行い、活動をスタートした。愛称をサーブ(SAV:佐世保・アルカス・ボランティアの略)と名づけ、主にチケットもぎりやプログラム配布、客席案内などの公演運営に関わる活動を行っており、令和元年度は7人の新規登録者を迎え、20代から80代までの幅広い年齢の市民が交流しながら文化を支える活動に取り組んだ。

また、財団職員による音源や動画を使用する「公演説明会」を定期的に受講し、公演情報を習得したうえでポスターやチラシを配布するなど広報活動にも取り組むとともに、外部講師を招いてのアナウンス研修やフロントスタッフ研修を実施した。令和元年度は新たな取り組みとして、財団職員とともにバリアフリー研修に参加するなど活動における知識と技術向上を図った。

ボランティアの自主的な活動と、コミュニケーション作りの場として「SAV通信」をボランティア編集員の手により年4回発行しているほか、ボランティア同士が交流する場として「アミーチの会」も随時実施している。

これらの活動実績が認められ、平成27年度佐世保市教育委員会文化・スポーツ表彰、文化功労賞(団体)を受賞、令和元年度に長崎県県民ボランティア振興基金よりボランティア活動奨励賞を受賞した。

財団では、このような活動を通じて地域や世代を越えて市民が社会参画を行う大切な事業の一つと位置付けており、活動の様子を情報紙「アルカス News」で紹介し広く周知することで、参加者の意欲と認知度の向上に努めている。

令和元年度の研修

- 令和元年10月14日(月・祝) バリアフリー研修① パネルディスカッション
- 令和元年10月26日(土) 話し方・コミュニケーション講座
- 令和元年10月28日(月) バリアフリー研修② 館内フィールドワーク
- 令和元年11月4日(月・祝) アナウンス研修
- 令和2年2月26日(水) バリアフリー研修セミナー

令和2年3月31日現在の登録人数 54人

- | | | | | | |
|------------------|-----|------|-----|--------|------|
| 自主共催事業への参加 | 活動数 | 24事業 | 46回 | 延べ参加人数 | 330人 |
| 自主共催事業以外の研修等への参加 | 活動数 | 27回 | | 延べ参加人数 | 405人 |

助成：文化庁(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

[5] 友の会事業について

(定款第5条第1項第2号関係)

アルカスSASEBOの友の会組織である「アルカスクラブ」は、ゴールド、オレンジ、ホワイトの個人会員3種で運営している。

毎年好評をいただいている「会員限定バスツアー」では、九州国立博物館で開催された「三国志」の特別展を鑑賞する美術館バスツアーと、アルカスの舞台では見る事の出来ない劇団四季の人気公演「ライオンキング」の観劇バスツアーを実施した。「ライオンキング」の観劇バスツアーは、7月実施の際は販売日初日に数分で完売するというニーズの高さから12月にも実施した。

文化芸術により興味を持っていただくことを目的に会員優待公演として開催した「アルカスSASEBO文化茶話」では、財団の自主事業に連動した内容の講師を招き、より自主事業に興味と購買意欲が深まる機会の創出として以下の3本の公演を実施した。

- ①『生誕 210 周年記念ここだけの話メンデルスゾーン』…チェリスト山本裕康氏とピアニスト諸田由里子氏を迎え2019年度のMプロジェクトのテーマである「メンデルスゾーン」にまつわるトークとミニコンサート
- ②『世界へのとびら～南米ベネズエラの「エル・システマ」が育んだ心豊かな子どもたちの世界～』…エディクソン・ルイス コントラバス・リサイタル関連企画/「エル・システマジャパン」のスペシャル・アドバイザー コロン・えりか氏を迎え「エル・システマ」や「東京ホワイトハンドコーラス」について映像等を交えながらの講演会
- ③『弦楽四重奏の魅力、愉しみ方』…アルカス・クアルテットのメンバーである西野ゆか氏が所属している「クアルテット・エクセルシオ」によるトークと弦楽四重奏の名曲演奏

令和元年度は、今後の事業運営に活かすため、窓口での会員更新時に、興味のあるジャンル、公演情報の入手方法、会員向け企画の希望などについてアンケートを実施した。

<現在の会員サービス>

	ゴールド会員	オレンジ会員	ホワイト会員
チケット割引	10% (購入枚数4枚)	10% (購入枚数2枚)	5% (購入枚数2枚)
チケット郵送	無料	有料	有料
会員先行発売	窓口・電話予約	窓口・電話予約	窓口のみ
情報誌「コンパス」(年4回)	送付	送付	なし
FAX・メール情報の配信	あり	あり	あり
協力店での割引サービス	あり	あり	あり
会員向け企画の実施	あり	あり	あり

・令和2年3月31日現在の会員数

会員総数 2,191 人

ゴールド会員 1,089 人 オレンジ会員 275 人 ホワイト会員 827 人